

同時開催 會津八一記念博物館企画展

殿塚・姫塚発掘60周年記念

甦る九十九里の埴輪群像

3D考古学の挑戦

2016年10月14日 金

2016年11月19日 土

観覧無料



早稲田  
文化芸術週間  
2016  
シンポジウム

# 3D 考古学の挑戦

## 考古遺物・遺構の三次元計測 における研究の現状と課題

主催：早稲田大学総合人文科学研究センター  
共催：早稲田大学會津八一記念博物館、早稲田大学考古学会、  
早稲田大学高等研究所、早稲田大学総合研究機構プロジェクト研究所、  
(以下、早稲田大学シルクロード考古学研究所、  
東アジア都城・シルクロード先史考古学研究所、  
比較考古学研究所、エジプト学研究所、  
文化財総合調査研究所)

2016年10月16日 日 / 17日 月

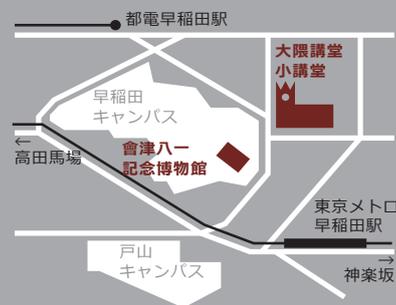
10:00~17:00(9:30開場)

早稲田大学 大隈記念講堂小講堂

入場無料、予稿集(A4フルカラー)は1500円で当日販売

三次元シンポジウム事務局

☎3dsympo.waseda@gmail.com ☎03-5286-3646 (考古学研究室助手：竹野内)



# 3D 考古学は、新たなパラダイムを構築し得るのか。

近年、三次元計測は、考古学的情報を精緻かつ迅速に記録する手法として一般化し、多くの研究機関および地方自治体で用いられるようになりました。しかし、考古遺物・遺構の三次元計測を用いた研究は、まだ始まったばかりで多くの課題があります。考古遺物・遺構の三次元情報は、既存の実測図と何が違うのか。如何なる方法論で研究できるのか。三次元計測でしか明らかにし得ない考古学的情報とはなにか。

本シンポジウムでは、様々な分野・時代・地域での事例報告に基づき、考古遺物・遺構の研究における三次元計測の可能性を探ります。

## 10月16日 日 (10:00-17:00)

野口 淳 (NPO 南アジア文化遺産センター)

「石器研究 3.0 3D 計測が拓く新たな地平」

水野敏典 (奈良県立橿原考古学研究所)

「三次元計測と銅鏡研究」

城倉正祥 (早稲田大学)

「人物埴輪の三次元計測における研究の現状と課題」

山口欧志 (奈良文化財研究所)

「モンゴル文化遺産のデジタルドキュメンテーション」

河野一隆 (九州国立博物館)

「九州国立博物館と三次元文化財データの活用」

寺村裕史 (国立民族学博物館)

「古墳の三次元計測におけるデータ処理方法とその課題」

横山 真・千葉 史 (株式会社ラング)

「PEAKIT 画像処理による三次元情報の視覚化」

総合討議 (高橋龍三郎・長崎潤一・城倉正祥・発表者)

「三次元計測と考古学研究の可能性」

## 10月17日 月 (10:00-17:00)

平原信崇 (早稲田大学)・大網信良 (東京都埋蔵文化財センター)

「土器施文痕跡の 3D マッチング」

佐野勝宏 (東京大学総合研究博物館)

「石器使用痕の三次元分析」

田畑幸嗣 (早稲田大学)

「カンボジアの文化遺産調査における三次元計測の取り組み」

寺崎秀一郎 (早稲田大学)

「開発途上国における 3D 技術の応用と展開 中米ホンジュラス共和国の事例から」

馬場匡浩・近藤二郎 (早稲田大学)・河合 望 (金沢大学)

「3D 活用の可能性 エジプトの場合」

渡辺 玲・佐藤悠登 (早稲田大学)

「石刃石器群の三次元計測と分析 石刃の選択性の行動論的解釈に向けて」

青木 弘 (埼玉県埋蔵文化財調査事業団)・ナワビ矢麻 (早稲田大学)

「横穴式石室の三次元計測と分析 若宮八幡古墳・埼玉鉄砲山古墳を事例として」

小林和樹・石井友菜・根本 佑 (早稲田大学)

「下総龍角寺出土遺物の三次元計測」

総合討議 (高橋龍三郎・長崎潤一・城倉正祥・発表者)

「三次元計測の技術的な課題」

